

立命館大学大学院
2025年度実施 入学試験

博士課程前期課程

経営学研究科
企業経営専攻

入試方式	実施月	論述	
		ページ	備考
一般入学試験	9月	P.1~	
	2月	P.4~	
外国人留学生入学試験 (RJ方式)	9月	P.1~	
	2月	P.4~	
学内進学入学試験(本学4回生対象)	9月		
	2月		
学内進学入学試験(本学他研究科2回生対象)	2月		
APU特別受入入学試験	9月		
	2月		
飛び級入学試験	9月		
	2月		

【表紙の見方】

×・・・入学試験の実施がなかった等の理由で入学試験問題の作成がなかったもの、または、問題を公開しないもの
斜線・・・学科試験(筆記試験)を実施しないもの

立命館大学大学院
2025年度実施 入学試験

博士課程後期課程

経営学研究科
企業経営専攻

後期課程では、筆記試験を実施していません。

立命館大学大学院 経営学研究科企業経営専攻
博士課程前期課程 入学試験

<一般入学試験（4 月入学）／博士前期>
<外国人留学生入学試験（4 月入学）／博士前期>

論 述 試 験 問 題

試験時間	解答数	持込許可物件
10：10～11：40 (90 分)	第 I 区分～第 III 区分のうち <u>2 つの区分</u> を選びなさい。次にその選んだ区分の中から問題を <u>1 つずつ</u> 、合計 <u>2 問</u> を選択して日本語で解答すること。同じ区分から 2 問回答した場合は、回答が「無効」となります。	な し

■受験にあたっての注意

1. 配布された答案用紙 1 枚ごとに受験番号・氏名を記入してください。
2. 1 問につき 1 枚の答案用紙に解答してください。
3. 途中での退室はできません。
4. 携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等のウェアラブル端末、ストップウォッチなどは、時計として使用できません。必ず電源を切ってカバンの中にしまってください。指示に従わない場合は不正行為とみなします。
5. 机の上においてよいものは、受験票、黒鉛筆、鉛筆キャップ、シャープペンシル、替芯・替芯ケース、消しゴムとケース、鉛筆削り、時計です。それ以外のものはカバンに入れ、カバンを机の下に置いてください。ペンケースも置かないでください。下敷、定規類、そろばん、計算機能・翻訳機能のついている時計、耳栓などの使用は認めません。時計のアラーム機能は、解除しておいてください。
6. 問題用紙・下書用紙も、試験終了後に回収します。
7. 試験中に途中で体調が悪くなった場合は、遠慮なく監督に申し出てください。

以下の第Ⅰ区分（戦略・マーケティング分野）、第Ⅱ区分（組織・技術経営分野）、第Ⅲ区分（会計学・ファイナンス分野）のうち、2つの区分を選びなさい。次に選んだ区分の中から問題を1問ずつ選択して日本語で解答しなさい。同じ区分から2問回答した場合は、回答が「無効」となります。

答案用紙は所定の用紙を使用し、選択した区分・問題番号を答案用紙に明記の上、解答しなさい。

※回答例 第Ⅰ区分の問題1と第Ⅲ区分の問題6 など

第Ⅰ区分

問題1 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1） 次の5つから2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。

- ① 購買中枢
- ② 製品専門化
- ③ オピニオン・リーダー
- ④ ブランドの希釈化
- ⑤ 製品ライフサイクル

（2） マーケティング・チャネル・システムを設計する際には、顧客ニーズの分析、チャネル目的の確立、主要なチャネル候補の選定と評価が必要となる。チャネル候補を決定する要素のうち、①企業がチャネル業務を遂行するために利用できる3つの仲介業者のタイプを特定し、②チャネルの各段階で採用する仲介業者数を決定する際の3つの戦略について述べなさい。

問題2 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1） 次の5つから2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。

- ① 消費財の4つの分類
- ② 近視眼的競争
- ③ 小売の輪
- ④ 機会主義
- ⑤ プル戦略

（2） 海外市場への参入と競争の機会企業にとって重要である一方、リスクが大きいのも事実である。したがって、企業は参入先国の状況に最も適した参入方法を選択しなければならない。ここでは、海外市場参入の5つの方法を取り上げ、図表などを用いながら、コミットメント、リスク、コントロール、潜在的利益の大きさといった観点から述べなさい。

第Ⅱ区分

問題3 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1） 次の5つから2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。

- ① 課業に基づく管理
- ② 管理過程
- ③ 官僚制組織における逆機能
- ④ ホーソン実験
- ⑤ X理論・Y理論

（2） バーナードの組織均衡論について、以下の用語をすべて用いて説明しなさい。
公式組織の3要素、有効性と能率、管理職能の役割

問題4 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1） 次の5つから2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。

- ① ライン・アンド・スタッフ組織
- ② カンパニー制組織
- ③ プロダクト・マネージャー制組織
- ④ マトリックス組織
- ⑤ 社内ベンチャー

（2） トヨタ自動車株式会社の豊田章男氏は、「自動車業界は『100年に一度の大変革の時代』に入っている」（同社 Annual Report2018）と表現している。トヨタ生産システムの特徴に触れつつ、大変革の時代の中でトヨタ生産システムがどのような対応を迫られるかについて説明しなさい。

第III区分

問題5 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1） 次の5つから2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。

- ① TCFD
- ② PBR
- ③ 会計情報の硬度(Hardness)
- ④ 管理会計の機能
- ⑤ 会計上ののれん

（2） ファンダメンタル分析とは何かを定義し、その必要性と限界について論じなさい。そのうえで、財務比率分析の一般的なプロセスを体系的に説明しなさい。特に、安全性、効率性・生産性、収益性、成長性、総合評価の各観点について、代表的な指標や分析アプローチを挙げ、それぞれの意義を明確に論じなさい。

問題6 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1） 次の5つから2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。

- ① CDS
- ② 危険中立型の効用関数
- ③ 裁定取引
- ④ 流動化とは
- ⑤ 非伝統的金融政策の操作目標

（2） 情報の非対称性とは何かを説明し、具体例を挙げて、どのような情報の非対称性がどのような問題を引き起こしたのかを説明しなさい。

立命館大学大学院 経営学研究科企業経営専攻
博士課程前期課程 入学試験

<一般入学試験（4 月入学）／博士前期>
<外国人留学生入学試験（4 月入学）／博士前期>

論 述 試 験 問 題

試験時間	解答数	持込許可物件
10：10～11：40 (90 分)	第 I 区分～第 III 区分のうち <u>2 つの区分を選びなさい。次にその選んだ区分の中から問題を 1 つずつ、合計 2 問を選択して日本語で解答すること。</u> 同じ区分から 2 問回答した場合は、回答が「無効」となります。	なし

■受験にあたっての注意

1. 配布された答案用紙 1 枚ごとに受験番号・氏名を記入してください。
2. 1 間につき 1 枚の答案用紙に解答してください。
3. 途中での退室はできません。
4. 携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等のウェアラブル端末、ストップウォッチなどは、時計として使用できません。必ず電源を切ってカバンの中にしまってください。指示に従わない場合は不正行為とみなします。
5. 机の上においてよいものは、受験票、黒鉛筆、鉛筆キャップ、シャープペンシル、替芯・替芯ケース、消しゴムとケース、鉛筆削り、時計です。それ以外のものはカバンに入れ、カバンを机の下に置いてください。ペンケースも置かないでください。下敷、定規類、そろばん、計算機能・翻訳機能のついている時計、耳栓などの使用は認めません。時計のアラーム機能は、解除しておいてください。
6. 問題用紙・下書用紙も、試験終了後に回収します。
7. 試験中に途中で体調が悪くなった場合は、遠慮なく監督に申し出てください。

以下の第Ⅰ区分（戦略・マーケティング分野）、第Ⅱ区分（組織・技術経営分野）、第Ⅲ区分（会計学・ファイナンス分野）のうち、2つの区分を選びなさい。次に選んだ区分の中から問題を1問ずつ選択して日本語で解答しなさい。同じ区分から2問回答した場合は、回答が「無効」となります。

答案用紙は所定の用紙を使用し、選択した区分・問題番号を答案用紙に明記の上、解答しなさい。

※回答例 第Ⅰ区分の問題1と第Ⅲ区分の問題6 など

第Ⅰ区分

問題1 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1）次の5つから2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。

- ① マーケティング・ミックス
- ② サービスの4つの特性
- ③ 参照価格
- ④ 排他的流通
- ⑤ 統合型マーケティング・コミュニケーション

（2）1つの具体的な製品・サービスを取り上げて、その製品・サービスのマーケティング戦略の特徴について、市場細分化における細分化変数に触れながら説明したうえで、細分化基準の有効性の観点から評価しなさい。

問題2 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1）次の5つから2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。

- ① プッシュ戦略
- ② 製品ミックス
- ③ 需要の価格弾力性
- ④ 0段階チャネル
- ⑤ パブリック・リレーションズ

（2）製品ライフサイクルのそれぞれのフェーズに見られる市場の特徴、および、それぞれのフェーズで重要になるマーケティング戦略を、フェーズごとに説明しなさい。

第Ⅱ区分

問題3 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1）次の5つから2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。

- ① オーセンティック・リーダーシップ
- ② スピリチュアル・リーダーシップ
- ③ サーバント・リーダーシップ
- ④ マズローの欲求段階説
- ⑤ ワーク・モチベーション

（2）IT発達とリーダーシップについて、以下の用語を全て用いて説明しなさい。

バーチャル・チーム、バーチャル・オフィス、リーダーシップ

問題4 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1） 組織設計の基本変数5つから2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。

- ① 分業関係
- ② 権限関係
- ③ 部門化
- ④ 伝達と協力の関係
- ⑤ ルール化

（2） 近年、デジタル技術の発展により、企業を取り巻く経営環境は急速に変化している。このような環境において、バーンズ & ストーカーの2つの組織構造のうち、どちらがより有効であると考えられるか。具体例を挙げながら、考えを述べなさい。

第 III 区分

問題5 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1） 次の5つから2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。

- ① 損益計算書
- ② 貸借対照表
- ③ 非財務情報
- ④ 利害調整機能
- ⑤ 製造原価

（2） 会計学における財務会計と管理会計の違いと関係性について説明しなさい。

問題6 以下の（1）と（2）のすべてに答えなさい。

（1） 次の5つから2つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。

- ① 効率的市場仮説
- ② キャピタルゲイン
- ③ 暗号通貨
- ④ 機関投資家
- ⑤ 上場

（2） 直接金融と間接金融の違いを、銀行と証券会社を含む金融機関の役割の違いを踏まえて説明しなさい。